

# 先輩職員たちの声

京都のまちづくりを支える、京都市職員からのメッセージ

# Message

採用WEBで「先輩職員の声」も随時更新中！インタビュー動画もぜひ御覧ください！詳しくは▶



電気

地下鉄の更なる  
利便性向上を目指す

交通局高速鉄道部電気課

谷 洸一郎 Tani Koichiro 令和2年度採用

京都市営地下鉄の電気通信工事の設計や施工監理に携わり、現在は丸烏線の列車案内表示器に関する更新工事を担当しています。業務を進める際は図面や仕様書を確認するだけでなく、現場の駅に向いて自分の目で確かめることを心がけ、施工業者や関係部署との情報共有も密に行うよう意識しています。お客様とは接する機会が少ない職種ですが、表示器を更新した際には「分かりやすい」や「見やすくなった」とのお声をいただき、モチベーションにつながっています。これまでは目の前の業務を処理するのに一生懸命でしたが、今後はお客様との利便性向上に、電気職としてのどのように貢献できるかを意識しながら業務を進めていきたいと思っています。



機械

多くの人のライフラインを  
守る仕事に邁進

上下水道局水道部浄水工場

加藤 真礼 Kato Manami 平成29年度採用

蹴上浄水場で水を送るポンプや塩素の注入設備など浄水処理に欠かせない機械を点検し、市民の方がいつも安心して水道水が使えるよう、機械設備の維持管理を行っています。また、春に一般公開している「蹴上のつづじ」で、その美しい姿を多くの方に覚えてもらえるよう、職員が協力して、つづじの手入れも行っていきます。以前、台風や地震などの災害時に他都市へ駆けつけ、水道水が出なくなった地域で飲み水を配りました。京都市だけでなく、より広い範囲で、幅広い仕事ができることは公務員ならではの魅力だと思います。これからも様々な業務を通して知識と経験を積み、多くの人から頼られる存在になりたいです。



農林整備

様々な課題に挑み  
京都の農林業を盛り上げる

産業観光局農林振興室林業振興課

柴田 紗季 Shibata Saki 令和4年度採用

木材利用の普及啓発の一環で、市民の方を対象としたツアーイベントの企画運営や、市内産木材を使って木造・木質化した建物の事例発信などに携わっています。このほかにも京都市内の森林資源を活用して新ビジネスの創出を目指す事業者を、ふるさと納税型クラウドファンディングによって支援する事業も担当しています。私は、民間企業から転職しましたが、現在の仕事にはより広い目線で世の中の動向をキャッチし、それに応えるにはどういった対応策が必要かを数ある手段の中から考え、舵取りをしていくことが求められと感じています。これからも様々な課題に対して適切な施策を打ち出し、京都市の農林業の活性化に貢献できるよう頑張りたいです。



獣医師

広く世界で食される  
京都発の食肉の安全を守る

保健福祉局衛生環境研究所(食肉検査部門)

小串 諒 Ogushi Ryo 令和5年度採用

京都市中央卸売市場第二市場に搬入される牛と豚に対し、生体検査から解体後検査まで実施しています。食用に適さないと思われる疾病や病変が認められた場合は、微生物検査や病理検査など詳細な検査を実施し、廃棄処分に関する判断を行います。公務員獣医師を目指したのは、学生時代に体得した知識や技術をそのまま仕事にいかせると考えたからです。実際に現場で直面する出来事は、かつて大学の講義で学んだことの延長線上にあることを実感しています。市場で処理される食肉は京都市内や国内のみならず、世界各国に出荷されます。自分の業務がより広い範囲に影響を与えることを自覚し、これからも食肉の安全を守り続けていきたいと思っています。



環境

2050年に向け  
脱炭素ライフスタイルを推進

環境政策局地球温暖化対策室

古園 英一 Furuzono Eichi 平成31年度採用

主に地球温暖化対策に関するホームページの制作に携わり、「2050年CO<sub>2</sub>排出量正味ゼロ」に向け、市民の方の意識改革や行動変容につながるコンテンツの企画から情報発信までを行っています。また広告物やSNSなどを活用した情報発信や、脱炭素先行地域(環境省)の取組として大学と連携し、グリーン人材の育成にも関わっています。これらの業務の一環として、将来の京都を担う若者を中心とする市民・事業者・学識者等で構成される「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム~2050京創ミーティング~」を立ち上げました。その中で意見交換を重ね、創り上げたライフスタイル像が市民活動の指針となっていることに、大きな達成感を感じています。



化学

調査研究を通して  
下水道事業に貢献したい

上下水道局技術監理室水質管理センター水質第2課

安倉 直希 Aikawa Naoki 平成30年度採用

健全な水循環を構築するための高度処理の効率的な運転方法、下水処理における環境汚染物質の挙動及び下水資源の有効利用など、下水道における様々な課題を検討するための調査研究に取り組んでいます。また、その成果について、下水道研究発表会での発表や下水道協会誌への論文投稿を通して発信しています。令和3年から2年間、国土技術政策総合研究所へ出向しました。そこでは国における下水道分野の政策や技術に関する知識・経験を身につけるとともに、国の職員の方や大学等研究機関の方と交流し、とても有意義な時間を過ごしました。今後も日本を代表する市の職員としての自覚を持ち、下水道事業に貢献できるような調査研究を行いたいです。



保健師

長いお付き合いを通して  
子育てをサポート

左京区後所子どもはくみ室

越智 星 Tsuchi Hikari 令和3年度採用

子どもはくみ室では、妊娠から18歳までの子どもに関する相談支援や子育て支援サービスの紹介、保育園への申込みなど、子どもに関わる様々な支援を行っています。その中で保健師は、家庭訪問や乳幼児健診、窓口や電話での相談、親子教室の企画・運営などを主に担当しています。長い期間、区内の子育て世帯の方々と関わることができるので、家庭訪問時に困っていたお母さんが元気になった姿や、乳幼児健診などで成長したお子さんの姿を見たときにやりがいを感じます。今後は母子保健だけでなく成人保健の分野でも経験を積み、その家族や支援者、更には地域全体をサポートできる職員を目指していきたいと思っています。



保育士

日々大きくなる子どもたちの  
姿に大きな喜び

子ども若者はくみ局壬生保育所

森澤 そよか Morisawa Soyoka 令和5年度採用

担任として1歳児クラスを受け持ち、子どもたちと一緒に元気いっぱい体を動かして毎日楽しく過ごしています。子どもたちの生活に携わることはもちろん、保護者の方とのコミュニケーションや子育てに関する相談援助、指導計画やクラス大よりの作成なども行っています。この仕事の一番の魅力は、子どもたちが日々成長する姿を間近で見られることです。小さな子どもと信頼関係を築くのはとても難しいのですが、少しずつつながりができ、自分の働きかけに応じてくれたときはとてもやりがいを感じます。同じことを繰り返す日々の中でも、毎日違う子どもたちの姿を見ることができるとして保育士という仕事は、とても素敵な仕事だと思います。